

みみょう幼稚園だより



平成29年9月号 ***** <http://mimyo.org/youchien/>

みんなで実多い2学期に

厳しい暑さは、まだまだ続きそうですが、いよいよ2学期がスタートしました。

みんながそろった保育室は、それは明るくにぎやかで、きらきらと輝いています。ちょっぴり日焼けした顔、一回り大きくなった身体、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に過ごした夏休みの思い出など、一生懸命お話してくれる姿やお友だちや先生と嬉しそうに触れ合う姿からは、40日分の成長や逞しさを感じます。とは言うものの、久しぶりの登園に、みなそれぞれの緊張もあったことと思います。「幼稚園大好き」「早くお友だちや先生に会いたい」と、家から意気揚々と走り出たお子さんもおられたことでしょう。「お家がいい」「お母さんといっしょがいい」と涙が出てしまったお子さんもおられたことでしょう。表われた姿はそれぞれに異なりますが、幼稚園という集団生活の中で、お友だちや先生と関わりながらの体験を通じて、この幼児期にしか得ることのできない様々な基礎的な力を構築させている、まさに真っ最中の姿なのです。笑顔にも涙にも涙があり、その一つひとつが発達の証なのです。

幼稚園に入園して卒園するまでの三年間は、「初めての集団生活の中で様々な環境と出会う時期」「あそびが充実し自己発揮する時期」「人間関係が深まり学び合いが可能になる時期」の大きく三段階ととらえられています。ここで伸びていく力の一つに「折り合いをつける」力があります。これは、自分自身の思いや人との関わりを調整していく力のこと、多くの触れ合いや関わりの中で培われていく力です。涙を流しながら、登園を嫌がることも、自らの気持ちを態度や言葉で表すことによって、その気持ちを整理したり、お母さんやお父さんの気持ちや状況を理解したりするために、とても大切で、その時間が次のステップのエネルギーとなるのです。笑顔で家をとび出した子どもの内心にも、必ずワクワクと同時にドキドキもあったはず。学期始まりは、特に重要で、小・中学校でも、スタート時の2・3日に、子どもたちの集団への安心感が決まると言われているほどです。当たり前に見える子どもたちの一挙手一投足を大事に大事に見ていきたいと思えます。そしてその思いにしっかりと寄り添っていきましょう。子どもたちも私たち大人の言動を大変敏感に感じ取り、学び取っています。子どもに、親にしてもらい先生にしてもらっていることを喜び合い自覚し合いながら、子どもたちと共に伸びていく実りの秋にしましょう。

夏休みも大変充実した期間となりました。お泊り保育では、高校生やきょうだい園の先生たちの力もかりながら、美しい自然を満喫することができました。ポイントラリーやとうもろこしの収穫に広い農園を走り回りました。一人ひとりにそれぞれの緊張や不安もあったようですが、自然体験、食事、着替え、入浴などを通して、確実に成長できたと感じました。また、プール開放や夏祭りなども皆さまのご協力のお陰で無事開催することができました。ありがとうございました。これから徐々に暑さも和らぎ、スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋と美しく豊かな季節となります。「運動会」「親子遠足」「みみょうフェスティバル」と盛りだくさんの日々となりますが、一つひとつ計画的に進めていきたいと思えます。運動会の会場変更やフェスティバルの開催日変更など、ご心配をおかけしていますが、どうぞご理解の上、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



☆☆☆お願い☆☆☆

学期の開始時期は、通学・通勤などの交通状況に変化も多く、危険性も高くなります。通園・降園の際の駐輪や駐車には、くれぐれも気をつけていただきますよう、重ねてお願いいたします。

(園長)